2023年3月8日（水）山陽新聞　[地方経済]

新製品学生アイデア・デザインコンテスト

大崎さん、岡田さん最優秀

高校生や大学生のアイデアを、地場企業が新製品開発に生かす「岡山モノづくり★学生アイデア・デザインコンテスト2022」（岡山県主催）で、高校生部門は県立玉島高2年の大崎桜子さんが、大学生部門は川崎医療福祉大3年の岡田朋花さんが最優秀のグランプリに輝いた。

県内の製造業3社が自社技術を生かせる製品のアイデアやデザインを募った。大崎さんはイ草製品の製造卸会社に、イ草製のコーヒードリッパーを提案。香りと吸湿性を生かすだけでなく、使用後には畑の肥料にすることができる点が評価された。

岡田さんは、福祉施設に通う子どもたちが遊びながらバランス感覚を養える手すり付きの跳躍器具を考案。ベッド用スプリング製造会社にアピールした。

県内外から44点の応募があり、24点が入賞。各社は寄せられたアイデアを参考に製品化を検討する。

コンテストは2018年度から実施。昨年度は新型コロナウイルス禍のため中止した。

（岡村綾乃）

グランプリに輝いた大崎さんの作品（上）と岡田さんの作品